※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆

九州運輸局メールマガジン　　平成２４年４月２６日　第１６５号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局ＨＰアドレス　　http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※

◇◇

―◆―　目　次　―◆―

１　九州運輸局ホームページアップ情報（４月１８日～４月２４日掲載分）

☆　各種情報

☆　分野別情報

☆　報道発表

☆　お知らせ

２　運輸局セミナー

◇◇

◇◆

１　九州運輸局ホームページアップ情報（４月１８日～４月２４日掲載分）

◇◆

☆各種情報

《入札契約情報》

・長崎港湾合同庁舎で使用する電気の需給契約

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

・企画競争実施予定情報の公表（４／１８）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_120417.pdf

・企画競争実施予定情報の公表（４／２３）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_120420.pdf

・企画競争実施公示（４／２３）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

・九州のうんゆ２０１２年１月号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/24_1.pdf

・海技試験合格・口述試験日程発表
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm

☆報道発表
・鉄道事業許可申請（鋼索鉄道）について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0419-keikaku.pdf

・川下り船、プレジャーボート等に対する安全キャンペーンを実施します
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0419-sennpaku-kaigi-unnrou2.pdf

・川下り船事業者に対し現地安全指導を実施します
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0423-unnrou.pdf

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
２　運輸局セミナー
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
　九州運輸局の各課から業務内容等を紹介すコーナーです。
　今回は安全防災・危機管理調整官です。

◇防災対策◇
　昨年の東北地方太平洋沖地震は、私たちに防災体制のあり方を再考させる大きな教訓となりました。九州においては、平成１８年に福岡西方沖地震が発生し、その後も奄美大島豪雨など九州特有の雨による大きな被害も数年に一度の割合で発生しています。そのような中、まさに東南海・南海地震が想定されており、大分・宮崎などの東九州では津波に対する防災対策が検討されています。
　九州運輸局には、防災業務計画、業務継続計画、緊急輸送マニュアル等が規定されていますが、職員に対し緊急時の行動のあり方や防災意識を一層向上させるとともに、実践的訓練を積み重ねていくことが重要と考えているところです。毎年９月に管内の交通事業者と連携した防災訓練を実施しており、少しずつではありますが初動体制のあり方など、意識向上を図っているところです。
　実際、事象発生後の初動体制をとる場合、まず、職員の安否確認が必要です。そこで災害発生時の自主的な安否報告に対する意識啓発を図り、各所属所における緊急連絡体制の確認と実効性の検証を目的として、本年３月の通勤時間帯において、運輸局全職員を対象とした携帯メールを利用した安否確認訓練を行いまし

た。訓練ということもあり、３時間以内には全職員の作業が終了しました。しかし、東北運輸局においては３月１１日の震災後に行った職員の安否確認に５日を要したとの報告もあることから、平時からこのような訓練を行っておくことが大切だと思っているところです。

　また、本年３月に「防災業務見直しプロジェクトチーム」を設置しましたが、既存の防災業務計画等諸規定を常時検証するとともに職員に周知し、諸規定を機能させていくこととしています。

　災害発生後は、救助・救護活動その後に復旧復興対策に取り組む必要がありますが、平時から職員へ災害対策本部、TEC-FORCE(※1)、自治体リエゾン(※2)等の役割を周知しておくことが大切ですし、都道府県等自治体に対し、災害時の緊急物資輸送や代替輸送協定の締結、物流事業者の専門家派遣協定締結等の推進について支援して参ります。

(※1)…緊急災害対策派遣隊　(※2)…支援のための情報連絡担当者

【安全防災･危機管理調整官】

◇◆

【編集部より】

いよいよ、週末からゴールデンウィークが始まります。

この時期、東北は桜が見頃を迎えます。

三春滝桜や石割桜、連続テレビ小説で有名になった一本桜など名所は数多くあります。さらに、世界遺産の「平泉」、豊かな大自然、そして世界に示された東北の人々のふるさとや家族を愛する心があります。

現在、政府を挙げて東北・北関東を訪問することでその復興を支援する運動を進めています。まだ予定がない方は、東北への旅行はいかがですか。

来週のメールマガジンはお休みします。次号は 5 月 10 日の予定です。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail ： mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel　： 092-472-2312　　Fax ： 092-471-7192

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
▼九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから▼
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※